

教育事例⑱

「発音練習」「聞き取り」ができる eラーニング教材の開発

～時間や場所を問わず繰り返し聴くことで、
フランス語の正しい発音・読みを習得～

発音と読み方の予習・復習、
授業外でも確認できる教材

教材開発のきっかけ

フランス語をゼロから勉強するクラスの学生から、発音を確認できる音声教材が欲しいと要望がありました。愛媛大学の学生専用オリジナルテキストを作り、使用していますが、例文等の発音や読み方を効果的に練習できる教材を加えたいと考え、授業時間外でも学習できるMoodleを利用することにしました。



音声教材収録の様子

教材の特徴

発音確認・練習用コンテンツ

オリジナルテキストにある会話をスライドにし、音声に合わせて文字が赤く着色されるように工夫した教材を作りました。学生は音声を聴きながら文字を目で追うことで、読み方と発音を確認し、何度でも練習することができます。言語の学習では、聞き慣れていない声でも言葉が認識できることが重要です。そのため、留学生など、教員以外のネイティブの声を収録しました。

また、ネイティブと日本人学生との会話を想定した動画を撮影し、映像教材を制作しました。これにより、授業で勉強した内容を使い、どんな会話が可能になるのか、実際のシチュエーションをイメージすることができます。



ヒアリング教材のワンシーン

外国語の勉強は、第一に発音、読み方の理解がベースとなります。1年目はこれに集中することになるのですが、授業内だけではどうしても時間が足りません。このため、発音、読み方の予習、復習、そして授業外でも確認ができる教材が必要です。

仏検対策！

eラーニングで模擬受験

この教材を制作するにあたり特に力を注いだのは、Moodle上で仏検の実際の過去問を使って模擬受験を可能にした点です。フランス語教育振興協会(APEF)の使用許可を得る交渉など大変でしたが、協会から正式に許可をいただき、教材として活用できるようになりました。学生からも、本番と同じように受験し、合否の判定までできるとあって、非常に好評です。



eラーニングを活用して
フランス語をゼロから学ぶ！

法文学部人文学科フランス言語文化 教育・学生支援機構共通教育センター

柳 光子 准教授

モヴェ エリック 准教授

また、授業の補足として、説明や解説、練習問題など、テキストだけでは足りない部分をMoodle上にピックアップしています。



撮影風景

他にも、学生に楽しく学んでほしいので、フランスの文化的な情報や時事情報などを載せるコーナーも作っています。

ICTを活用しやってみよう

eラーニングの相互利用と聞きましょうか、ICTを利用した学

習が協定校と共有できればと願っています。また、WebカメラやSkypeなどを使い、現地の風景や人々に接しながら学べる仕組みを学生と一緒に作ってみたいとも考えています。

これからの取り組み

外国語教育の場合は、一方通行で情報を与えるというより、人間と人間とで直接会話するなど、相互に関係しあって学習するほうが効率的と言えます。そのため、学習者からも働きかけができるような環境をMoodle内でできないか検討中です。

他にも、単語を楽しくゲーム感覚で覚えられるシステムや、実際の生活風景を映像教材として提供できないかなど、より効果的な教材の開発を考えています。

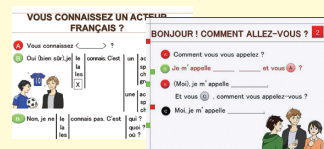
昨年1回生が
仏検5級に
合格しました！

同様に2回生は4級、
3回生は準2級・2級に
合格しています



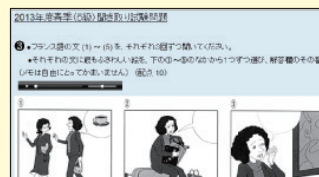
制作
コンテンツ

音声教材



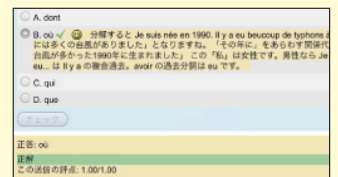
音声に合わせて文字に着色または背景色をつけることで、ネイティブの速度と発音、リエゾンなどフランス語独特の読みが確認しやすくなり、発音練習もくり返し可能に。

仏検の過去問



(財)フランス語教育振興協会の許可を得て、前例がなかったeラーニングによる模擬受験を可能にした(聞き取り問題を含む全問題)。解説および合否判定をただちに参照できる。

練習問題



教科書の練習問題を補うコンテンツ。予習や復習に利用することを推奨しているが、くり返し取り組み、表示される解説を読むことで記憶の定着を図る効果も。